

資料 - 10

報告書

下記のような新スコアリングシステム案がBWF会長名（2014年6月14日付）で届きましたのでご報告致します。

国際部長 高橋英夫

BWF MEMORANDUM

NEW EXPERIMENTAL LAWS ON SCORING SYSTEM 18 June 2014

- 1 2014年5月30日のBWF理事会で新しい「セティングなしの11点5ゲーム制の実験施行に関する同意がなされた。
- 2 実験施行は、2014年8月1日（金）から2014年の11月2日（日）の期間で行うものとする。
- 3 この施行期間に実験されたデータは、11月14日のBWF理事会で検討され、採用の可否について決定する。
- 4 BWF理事会で、かかる変更は加盟国に知らされ次の年次総会までに決定される。（2016年リオオリンピックの前か後）
2016リオデジャネイロ前の変更については、2015年5月から始まるオリンピック予選の前に決定される。
- 5 実験施行期間内に開催される ① 全 BWF Grand Prix (Level 3)の大会,
② 全 BWF Level 4 の大会、
③ 国際公認 Junior Tournaments
等計42大会で実施し、そのフィードバックをその後のBWFの大会に使う。
- 6 Laws of Badminton（競技規則の一部改訂）
Part II, Section 1B, Appendix 3 – Other Scoring System

付録 3 その他のスコアリングシステムによるゲーム

3. 1ゲーム11点で3ゲーム先取の5ゲームマッチ

ただし、上記3の場合、現行の競技規則の中で以下の変更点が適用される。

第7条 スコアリングシステム

第1項 マッチ（試合）は、3ゲーム先取の5ゲームで行う。

第2項 ゲームで11点を先取したサイドがそのゲームでの勝者となる。

第8条 エンドの交替

第1項 プレーヤーは、次の場合にエンドを替える。

- (2) 第2ゲームを終了したとき
- (3) 第3ゲームを終了したとき（第4ゲームを行う場合）
- (4) 第4ゲームを終了したとき（第5ゲームを行う場合）
- (5) 第5ゲームで、どちらかのサイドが最初に6点に達したとき

第16条 プレーの継続、不品行な振舞い、罰則

第2項 インターバル

- (1) 60秒を超えないインターバルは、5ゲーム目のみ、どちらかが先に6点に到達したとき認める。
- (2) 120秒を超えないインターバルについては、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間、第3ゲームと第4ゲームの間、第4ゲームと第5ゲームの間に認める。

実験期間：日本協会としてどのように対応するか検討が必要と思われる。

- ・新しいスコアリングシステムの受け入れを望む。
- ・加盟国のサポートが必要。
- ・実験施行結果のフィードバック。
- ・国内大会にも実験を取り入れてほしい。
- ・プレーヤー、観客、審判員、メディア、CM関係者、大会に関するすべての人からの情報を歓迎する。
- ・BWF加盟国なら、これからの大會で新しいスコアリングシステムを実験施行していただき、それについての一貫したフィードバックをいただきたい。

アクション

- ・もし、大会のホスト国や、加盟国なら、すぐに、または、少なくとも6月27日までに実験を大会に受け入れることを決めてほしい。
- ・もし、実験を国内の大會やリーグで行うのなら、いつどこでそれらの大會を開催するのかの詳細を教えてほしい。

結び

- ・ぜひともこの極めて大切なこの期間に、スコアリングシステムの実験施行結果の分析をさせていただきたい。
- ・みなさまからのご連絡をお待ちしている。

BWF 会長
Poul - Erik Hoyer